

第1回 古川西部地区通学部会 報告書（抜粋）

- 1 開催月日 令和3年10月18日（月） 午後7時00分～午後8時30分
- 2 開催場所 志田地区公民館 ホール
- 3 出席者 古川西部地区通学部会員 14名 及び 事務局 8名
- 4 次第
 - 1 開会
 - 2 挨拶
 - 3 部会員紹介
 - 4 部会長選出（古川西中学校の島田眞吾教諭が選任）
 - 5 協議事項（1）今後のスケジュール等について ⇒事務局より説明
（2）スクールバス運行ルートについて ⇒事務局より説明
 - 6 その他 費用弁用及び傷害保険について
 - 7 閉会

5 協議概要（○：委員，⇒：事務局）

○ファミリーマート近くの踏切を広くする件はどうなったのか。

⇒道路改良を今年度10月頃から行う（市建設局）。道路改良を終えた後に線路の改良に入る。

道路については今年度、線路については来年度という流れ。

<スクールバス運行ルートについて>

○停留所、バスルートに関して、これから検討するということですが、今までの停留所から遠くなる子どもが出てくると思います。学校、公民館まで歩かなければならない子供がでてくるかもしれない、そうなった場合に雪道の停留所までの除雪を乗車時間までに行っていただくよう要望します。

⇒要望としてお受けいたします。

○資料4-4のスクールバス運行についての表の見方ですが、【1】【2】の高倉コースが通年、【3】【4】【5】【6】の東大崎コースが冬期間のみとなっていますが、東大崎コースは12月までスクールバスの運行はしないでよいのか。

⇒資料4-4につきまして、古川西部地区は中学校しかスクールバスの運行はしていない。東大崎コースについては、台所線が地吹雪地帯で非常に危険になることから、冬期間のみ東大崎の中学生を乗せるバスとなっている。

○古川西中学校に通っている志田地区の子どもたちが冬期間にスクールバスを利用していると思うが、統合後は利用できないのか。

⇒こちらの確認不足でした。現状、高倉コースに志田地区の子どもたちが乗ってきているのでしょうか。事務局としては、そこまでは把握していなかった。

○実際に乗っているかはこれから把握してほしい。冬期間に志田小学校の子どもたちもスクールバスにらせていただくよう要望します。

○高倉のスクールバス運行に関して、義務教育学校7～9年生は矢目においては、現状、スクールバスを利用している子どもたちはいないのか。

⇒【1】【2】の高倉のコースのなかで、矢目を通るスクールバスがあり、そちらから子どもたちが乗っているという形になっている。

○この表だとわかりづらい。この表だけ見ればそもそも対象としてみなされていないのだと判断してしまう。例えば、全域と表記するか、現状、通われる生徒がいないのであれば、注釈を入れるなどの対応することでわかりやすい資料になる。

◇部会長

○それでは、事務局から説明がありました「停留所」について、検討していきたいと思います。

小学校区毎にここを「停留所にしたら」といった話し合いをして頂きご意見を頂戴したい。

◇（東大崎小）

○今の段階で、中学校の停留所が4カ所あるとお聞きしたので、その場所がベストではないかという意見になりました。

◇（志田小）

○一つは、飯川下地区から古川西中学校に通っている子どもたちが、乗り降りをしている道路の脇のところ、もう一つは東大崎小学校、それから上中目地区の子どもたちはどうなるのかを検討しなければいけない。これを学校に持ち帰り、再度検討させてほしい。

◇（西古川小）

○西古川地区は、西古川駅前、もしくは、駅前にあるJAの跡地、そこは空き地になっているところもあるので、車が止められたり保護者も送迎しやすいと思う。あとは西古川地区公民館、そして、耳取、柏崎方面の方は、まったく場所が違ってくということと、斎下については、東大崎のルートで乗せたほうがいいのかという意見です。私達も小学校に持ち帰って、低学年や今後はいる親御さんたちの意見を聞ききたい。

◇（高倉小）

○高倉地区につきましては、2ルートに分かれるのがいいのかなと思う。生徒数が減ってきている状況なので、停留所の配置を3カ所程度とした場合にどうしても距離が出てしまう子どもたちもいることから、そこについては検討する必要がある。あとは以前に比べると条件が変わってきていること。私が中学校の時に通っていたところに雨、風をしのぐ場所があったが今はない等、そういった部分も加味する必要がありますので、この場でどこを停留所にするかを決めかねる。今後、停留所の配置を3カ所にする事でその間の子どもたちはどうするのか、また保護者の不満をなくすという意味でも高倉地区内で意見を集約する場を設けたいと考える。

⇒部会員の皆様がおっしゃるとおり色々な問題が出てきてすぐには回答できないと思いますので、できれば地区に持ち帰っていただいてご相談いただき、次の会議の時にルート案、停留所案をお示しいただき、そこからスタートという形でいきたい。2カ月後ぐらいに次の会議を開催したいが、その間に案を検討いただきたい。また、今回、各地区に航空写真の拡大図を配布しましたので、そちらに記入等してご提示していただくと助かります。

◇（志田小）

○実際問題として、学校で集まることができない状況です。ですので、第2回の開催を12月ではなく、もう少し後にずらしてほしい。

⇒2カ月後では厳しいというお話でしたので、部会員の皆様から大体このくらいということで決めていただくのがいいのはどうですか。

○例えば、志田小学校ですと12月3日に学習発表会があって、保護者の皆さんが集まる機会があるので、この時に提示して考えていただくということを考慮すると、1月頃だといいのではないかと思います。

⇒各地区においても、第2回の開催を1月下旬頃ということでご了承いただき、それまでの間に意見集約をお願いした。また、各地区で意見集約のための航空写真の拡大図を後日、志田地区については、PTA会員数分、その他の地区については、10部ずつ学校に配布することとした。

◇（東大崎小）

○再度の確認です。1月下旬頃開催の通学部会にそれぞれの案を持ち寄って素案を作成していくと思うが、スケジュール表のとおり、令和4年度の授業参観日に試案の説明とか、これから第1次案の検討がされて、第2次案という流れであり、最初に出した案がそのままバスルートの決定となるのではなくて、何回か改正、見直しをしながら進んでいくという認識でよろしいか。ですので、みんなの意見をどうしても集約できない場合は、学校としてこういう停留所をお願いしますという提案を持ち寄ればいいのか。

⇒そのとおりです。